

学校説明会でのよくある質問とその答え

学校の様子・本校の特色等について

Q. 他の高校にはなく、元石川高校にしかない特徴は何でしょうか。

A. 県立高校唯一の講座「アントレプレナーシップ」を開設しています。また部活動では地域貢献団体「More」が活動しており令和4年度に同好会から部活動に昇格しました。また、本校だけというわけではないかもしれませんが、ノーチャイム制や一足制も元石川高校の特色と言えます。

Q. 在校生の男女比を教えてください。また、1クラス何名でしょうか。

A. 令和6年度の全校生徒は、男子509名、女子550名で、男女比はおおよそ10:11です(令和6年9月現在)。1クラス40名で編成されます。

Q. 先生方と生徒とは生活面、進路等の相談の時などに話しやすい環境でしょうか。

A. 元石川高校は、以前から「面倒見のよい学校」をめざしてきました。教員と生徒は、常にいろいろな場面でコミュニケーションをとっています。教員には教育相談コーディネーターの役割を担当する教員が5名おり、その他の教員も常にカウンセリングマインドを持って生徒に接しています。また、夏休みには、全学年、全員と三者面談を行っていて、保護者の方とも、勉強、生活、進路等について、丁寧にお話をしています。

Q. 一足制のメリットを聞きたいです。

A. 本校では、大学や病院・会社などと同じように外履きのまま入ることができます。一足制にしたことにより、校舎への出入りが非常に楽になり活動がスムーズになりました。校舎に入るときは誰もがマットで泥を払うなど、マナーを守る元石川の高校生だからこそ校舎内も清潔に保たれているといえます。また、昇降口は下駄箱を撤去し、「イタリア広場」と名付けたラウンジスペースとし、生徒同士のコミュニケーションの場として活用されています。なお、昇降口にあった下駄箱は、別の場所に移動し、体育の授業等で履く運動靴を入れていきます。

Q. 一足制でも教室がとてもきれいでした。掃除は毎日していますか。どのように掃除をしていますか。

A. 毎日掃除をして清潔を保つ努力をしています。大切なのは「汚さないこと」です。このことが、元高生全員の共通意識となっているように思います。

Q. なぜノーチャイム制を導入されたのですか。

A. 併設されている麻生支援学校分教室と時間割が異なることが導入のきっかけでした。また、元石川高校生なら、チャイムが鳴らなくても自主的に、そして自分を律して、けじめある行動ができ、さらにそれが将来を生きる力の養成につながると確信していたからでもあります。その確信は間違っておらず、チャイムがなくても、授業に遅れたりする生徒は見かけません。

Q. 教室にエアコンは設置されていますか。

A. 全ての普通教室と、化学実験室、美術室、音楽室、情報学習室などの特別教室、図書館や視聴覚室など、ほとんどの部屋に設置されています。

学習について

- Q. 勉強のサポートはどのようなものがありますか。
- A. 普段の学習では、授業中にすぐに質問でき、また休み時間には職員室前に学習コーナーがあり、そちらで質問に対応しています。そして全ての授業でインターネットを用いて質問ができる体制も取っています。3年生になると大学受験のための学力の養成も授業のなかで意識して行っています。実力試験は、1、2年生では、年間3回（3年では6月に1回、あとは希望制）実施し、学習の定着度を測っています。さらに校内講習として、通年実施の進学講座（3年生希望者）や夏・冬休み中心の補習講習（1・2年生対象）などを実施しています。外部の教育関係の企業に委託したプログラムも希望者に紹介しています。（Q. 大学受験対策としてどのような取り組みをしているか詳しく知りたいです。も参照）
- Q. 選択科目はアントレプレナーシップも含め希望通り取れるのでしょうか。
- A. はい、希望者は全員選択できます。ただし、選択科目の希望者が極端に少ない場合は開講されない場合もあります。
- Q. 2年生からの選択について、必修選択別でのクラス分けはないのでしょうか。
- A. 1年生・2年生とも科目選択に基づいたクラス分けを行っています。3年生は文理のクラス分けは行っていませんが、選択に基づいたクラス分けを行っています。
- Q. 元石川高校のICTを活用した授業は怎么样了か。
- A. 生徒は、入学時にクロームブックなどの端末を各自で購入してもらいます。全員に、Googleのアカウントを付与し、校内ネットワーク（Wi-Fi）につないで、先生と課題や宿題のやり取りを行ったり、授業中に教室で大型テレビをつないで、発表や生徒同士の意見の共有などを行ったりして学習効果や効率を上げています。全学年、Classiとロイロノートというクラウドサービスを活用しています。
- Q. 海外研修などに参加する生徒について教えてください。
- A. 本校では行事として行う海外研修はありません。一部の生徒は外部のプログラムに参加しています。
- Q. 水泳の授業はありますか。
- A. プールがありませんので、本校では水泳の授業はありません。部活動でも水泳部はありません。なお今後、プール新設の計画はありません。
- Q. 体育は、3年間選択種目でしょうか。また、その場合どんな種目がありますか。
- A. 3年間通して選択が中心になります。最初に陸上、器械体操、ダンスから選択します。その後、バスケットボール、バレーボール、サッカー、テニスなどの種目から選択します。1年間に何種目か選択して授業を受けます。
- Q. 日本史探究、世界史探究はどのような授業でしょうか。
- A. 日本史探究や世界史探究は、令和4年度入学生から学ぶ、新しい学習指導要領で新規に設置された科目です。文献等史料の読解など、より詳細な歴史を探究的に学びます。
- Q. フードデザイン、ファッション造形基礎はどのような授業でしょうか。
- A. フードデザインは、家庭や地域において食育の推進に主体的に取り組むことができる資質・能力を育成することをねらいとしています。おもに調理を通して知識や技術を身につけます。ファッション造形基礎は、被服の構成、洋服や和服の製作に関する基礎的・基本的な知識と技術を身につけることをねらいとしています。おもにミシン等を使った被服製作等を行います。
- Q. 書道の授業はありますか。
- A. 本校では芸術科は、音楽か美術の選択で書道の授業はありません。書道で単位をとることはできませんが、書道に興味がある方は書道部で活動することができます。

アントレプレナーシップについて

- Q. アントレプレナーシップを選択した生徒の進学率は高いのでしょうか。
- A. アントレを含め、選択科目別の進学率を調査したことはありませんが、ほぼ全員が進学希望者なため、進学率は100%に近いと思います。
- Q. アントレの評価はどうなっているのですか。
- A. 発表の仕方、資料のまとめ方、問題解決までの過程等の活動や資料に基づいて観点別に評価し、5段階評価を行っています。
- Q. アントレプレナーシップは、希望者は全員受講できるのでしょうか。またこの授業は実際にどのくらいの生徒が選択しているのでしょうか。
- A. アントレプレナーシップは、2年生の選択科目の一つで、人数制限はなく、希望した生徒は全員受講できますが、積極性や主体性、やり抜く強さが要求されます。1年生の夏ごろに希望をとり、説明会や面談を重ねて受講者を決定していきます。令和6年度は19名の生徒が受講しています。
- Q. アントレプレナーシップではこれまでどのような企業から協力依頼がありましたか。
- A. 電通、SonyのXperia、JICAの海外協力、KIRIN「午後の紅茶」、ビクターエンターテインメントのバンド、ATIの海外修学旅行企画、神戸屋、プロログ、東急などにご協力いただきました。また横浜市、大船渡市、たまプラーザ商店街、たまプラーザ住宅連合会などにもご協力いただいています。

進路指導について

- Q. 大学模擬講座は年にどれくらい行われていて、内容はどのようなものなのでしょうか。
- A. 1年生対象に1年に1度、40以上の大学・短大・専門学校の先生に来校いただいて、講義をしていただいています。生徒は希望する講座を受講します。
- Q. 「社会人に学ぶ」（1年）は、具体的にどのようなことを行うのでしょうか。
- A. 本校の卒業生を招いてキャリア教育についてのお話をさせていただきます。
- Q. 大学進学向けに理系・文系に分かれるのはいつですか。
- A. 本校では、理系・文系に分かれたクラス分けは行っておりませんが、2年生に4時間分、3年生で16時間分の選択科目を選択することで、理系大学・文系大学向けの学習をすることができます。
- Q. 文系と理系を分けない理由は何ですか。
- A. 文系クラス・理系クラスに分けると、40人ずつに区切らねばならず、生徒一人一人の希望に沿った選択が難しくなることから文系・理系でのクラス分けは行っていません。文理クラスに分けなくても、生徒は文系選択・理系選択を行って授業を受けることができます。文部科学省も、過度に文理分けをすることはよくないという見解を示しています。
- Q. 大学受験対策としてどのような取り組みをしているか詳しく知りたいです。
- A. 元石川高校では、日々の授業が大学受験のための学力の土台作りと考えています。最近の大学入試で問われるようになってきた、思考力や表現力の育成も授業で力を入れています。そのうえで、1・2年生は例年、7（1年生は4月にスタディーサポート）・11・1月頃に年3回模試会社の試験を使った実力テストを全員受験しています。3年生は6月のみ全員受験で、秋以降は自分で、本番の雰囲気慣れる意味でも積極的に校外模擬試験を受験するよう指導しています。また、校内講習としての進学講座を、3年生の希望者を対象に、通年で実施しています。さらに、希望者は、リクルート社のスタディ・サプリを団体加入して活用しています。総合型選抜（AO入試）、学校推薦型選抜（指定校推薦・公募制推薦）の受験時に課される、面接やプレゼンテーション、小論文などの対策は、個別に実施しています。さらに受験方法の一つとして、英語外部検定の成績が活用できる場合が増えていることから、希望者には英語面接や英文エッセイ対策の講座を開いています。
- Q. 指定校についてもうすこし詳しく知りたいです。
- A. 指定校推薦の学校は、年度によって変わっています。主な指定校大学一覧は本校HPに掲載しています。成績基準は大学によって違いますが、人数制限があることが多いため、希望者が多い場合は、成績の高い生徒の希望が優先されます。

Q. 進学先の大学に具体的に毎年何名進学していますか。

A. 学校案内や本校HPに大学進学者数が掲載されています。

Q. 大学の学部別進学者数を知りたいです

A. 現在各大学の学部は多種多様になっており、学部別の人数はそれぞれが少人数となることから算出しておりません。

Q. 進学塾にはいつごろから通い始めますか。利用している割合を教えてください。

A. 学校としては進学塾に通わなくても、大学に進学できるように授業や校内進学講座を行っています。そのうえで、進学塾に通っている生徒は8割ほどで、1年の時から通っている生徒もいれば、3年の部活動を引退してから通う生徒もいます。

校内講習について

Q. 校内講習は、全員参加でしょうか。

A. 進学講座・補習講習共に、希望者が参加します。ただし、補習講習の中には、指名講習（基礎的な内容の補いが必要であると判断された生徒対象の、出席必須の講習）もあります。

生活指導について

Q. 校則について知りたいです。

A. 生徒心得については本校HPをご覧ください。

Q. 指定の体操服はありますか。

A. 2016年より学年カラーを用いた新しいデザインの体操着となりました。

Q. 頭髪に関する校則はきびしいですか。

A. 生徒心得に「髪型は常に清潔で見苦しくないようにし、脱色、染色およびパーマ・ウェーブ等を禁止する」とあります。守れない場合は再登校指導となる場合があります。

Q. スカートの長さの規定はありますか。

A. 長さの規定はありません。制服のデザインを検討した際、膝がしらにかかる程度の丈を推奨しています。

Q. 校内で履物を履き替えている生徒はいますか、スリッパの使用は可能でしょうか。

A. 履き替えている生徒はみかけません。スリッパなどかかとのない靴は危険性もあるため推奨していません。

Q. アルバイトをしている生徒はいますか。

A. アルバイトは届出制です。勉強に遅れを出さないこと、内容が高校生にふさわしいことを考慮して、届け出るよう指導しています。

Q. 女子のローファー靴は指定されていますか。通学に使用する靴やグラウンド履きは指定されていますか。セーターは指定されていますか。

A. 靴は短靴で、靴下、カバンは指定していません。男女ともに、セーターを指定しています。また指定のベストもあり、年間を通じて、二つを自由に着用できます。

Q. 女子でスラックスを着用している生徒はどれくらいいますか。

A. 着用している生徒も日によって変化しますので正確には把握しておりませんが、若干名おります。

Q. 夏服はYシャツかポロシャツか、どちらでも良いのでしょうか。

A. 本校HPの生徒心得の通り、どちらでも可です。

Q. 男子の頭髪の規定はどのような感じでしょうか。長髪も可能でしょうか。

A. 本校HPの生徒心得の通りです。

通学について

Q. あざみ野駅から徒歩で通学している生徒がいますか。

A. 時間は若干かかりますが、徒歩通学の生徒もある程度います。

Q. 生徒はどの地区から通学している人が多いですか。

A. 年度によって異なりますが、横浜市青葉区や緑区から通っている生徒が多いです。また、川崎市北部地域から通学してくる生徒もいます。

Q. 自転車通学を主として雨や雪などの天候のときにはバス通学は大丈夫でしょうか。

A. 雨や雪などの天候の時に、バス通学をすることは可能です。ただし荒天時にはバスは混雑する傾向にあります。

Q. 雨の日や道路事情等によるバスの遅延による遅刻の扱いはどのようになりますか。

A. 基本的にバスの遅延による遅刻は、遅刻扱いになります。

Q. 駅のバス乗り場は混雑していますか。

A. 晴れているときは、あまり混んではいませんが、雨天時にはバス乗車人数が増えるため、一回では乗ることができないことがありますので、早めの登校をお願いします。

Q. 自転車通学のルールを教えてください。

A. 自転車通学は届出制となっています。駐輪スペースは十分に確保されておりますので、遠近にかかわらず希望することができます。また、電動アシストの自転車を利用しても構いません。法律で定められている通り、自転車保険（自転車損害賠償責任保険等）には必ず加入していただきます。通学時には交通ルールを守り、ヘルメットを着用するなどし、安全に登校してください。

学校行事について

- Q. 体育祭の種目や文化祭の催し物の種類が知りたいです。
- A. 体育祭は徒競走リレー系とアトラクション系の競技があり、応援演技が目玉です。文化祭は、文化系の部活動の発表のほか、中庭での発表や体育館での発表と後夜祭があります。生徒の手作りによるファッションショーが恒例となっています。

部活動について

- Q. 部活動の一日の活動時間は何時間ですか。
- A. 通常は、平日は2時間程度、休日は午前または午後の3時間程度です。
- Q. 部活動があるときの下校時間は何時ですか。
- A. 平時の本校の下校時間は18時30分です。校内で勉強していても校舎が19時過ぎに閉まりますので、18時30分には下校となります。
- Q. 部と同好会の違いは何ですか。
- A. 一番大きな違いは、部活動は生徒会から補助費が出ますが、同好会には出ません。最初は同好会として発足し、1年間活動して、部員が7名以上いる場合は、届け出て部に昇格することができます。
- Q. 兼部できる場所はありますか。部活動と同好会の両方に所属することは可能ですか。
- A. 規定として、全ての部活動、同好会で兼部が可能ですが、活動日の重複などがある関係で、兼部が難しい場合があります。
- Q. 部活のマネージャーはありますか。
- A. 全ての運動部はマネージャーを置いています。
- Q. 部活に入らない生徒はいますか。
- A. 毎年、部活動加入率は8割前後ですので、加入していない生徒もいます。
- Q. 生徒会、風紀委員など委員会等の活動はないのですか。
- A. 生徒会本部を中心として、保健委員会、美化委員会など基本的な委員会が設置されています。ボランティア委員会など個性的な活動もあります。生活委員会はありますが、風紀委員会はありません。
- Q. 陸上競技部の短距離は強いのですか。
- A. 令和6年度は、県大会に出場するなど活躍しています。各大会上位入賞を目指し、日々活動しています。
- Q. 放送部と放送委員の違いは何ですか。
- A. 放送部の目的は、放送の大会に参加して全国大会を目指すことです。また技術を生かして学校紹介ビデオの作成や、学校説明会での司会など行事のサポートを行っています。放送委員は全クラスにいますので、クラスのスナップ写真の撮影などの記録を行っています。
- Q. 書道部は普段どのような活動をしていますか。文化祭等での書道部のパフォーマンス等がありますか。
- A. 生徒の希望に沿って練習・創作・コンクールへの出品等の活動をしてきました。文化祭では大きな紙に音楽に合わせた書道パフォーマンスを行ってきました。
- Q. 写真部は週に何回活動しますか。
- A. 写真部の主な活動は個々に写真を撮ることですので、部員が一同に会する活動は月に1回の講評会と土日の撮影会くらいです。それまでの間にそれぞれに写真を撮っていますが、カメラの貸し出しや放課後残って校舎内での撮影や編集作業を行う際は適宜顧問に相談して行うことができます。
- Q. 野球部の部員数・練習日など知りたいです。練習試合はどれくらいですか。ウェイトトレーニングはやっていますか。頭髪の決まりはありますか。
- A. 令和6年度の活動は週5日、部員数は26名です。練習試合は他校の予定と合わせて週末はできるだけ組むようにしています。トレーニングについてはグラウンドでも可能な基礎的なものがメインです。頭髪については特に決まりはありません。

- Q. 科学部はありますか。(一昨年の案内では、自然科学部があったと思いますが。)
A. 廃部になりました。

「More」について

- Q. More とはどんな部活ですか。
A. 「好きなこと、得意なことで社会貢献」をモットーに、生徒自身がやりたいことを考え、企画し、実行しています。主体的な活動がしたい、社会貢献をしてみたい、という人にオススメの部活動です。
- Q. 部活と More を両立している人はいますか。
A. 兼部している生徒もいます。兼部しているのは放送部、軽音楽部等です。
- Q. More のラジオについて具体的にどんなことを放送していますか。
A. 横浜市青葉区のコミュニティ FM ラジオ「FM サルース」や YouTube などでも放送を聞くことができます。内容はたまプラーザ周辺のイベントや施設の紹介など地域活性化に役立つニュース、元石川高校の活動や元高生の高校生ライフなどを紹介しています。
- Q. More の国際ボランティアについて、フィリピン以外に寄与している国はありますか。
A. 現在行っているのは、フィリピンのみです。コロナ禍以降、一時中断しています。

安全対策等について

- Q. 食物アレルギーがあるのですが、売店や食堂等でアレルギー表示などの対応はありますか。
A. 購買で販売されているものは基本的に一般に販売されているもので、消費者庁の基準に則って表示されています。なお本校に食堂はありません。
- Q. 建物の耐震状況を教えてほしいです。
A. 本校のすべての施設は、国の耐震基準を満たしていますので、県教育委員会の調査の結果、耐震工事の必要はないとされています。
- Q. 学校案内のなかの行事の一覧にあった「DIG 訓練」は、具体的にどのようなことを行うのですか。
A. DIG 訓練とは、Disaster Imagination Game の略で、地図等を使いながら、災害時の下校班の確認、避難経路の確認、災害時に災害から身を守るための諸注意を行っているものです。

高校入試について

- Q. 横浜市居住者と川崎市居住者では入試で何か差はありますか。
A. 県立高校は県内居住の方はどの学校でも受検できますから、横浜市に居住している方と、横浜市以外に居住している方で入試に差はありません。
- Q. 入試に向け重点的にどのような勉強を行えば良いでしょうか。
A. 本校では特定の科目を重く見る「重点化」や、学校独自の選考試験である「特色検査」は実施しませんので、中学校生活に前向きに取り組み、中学校の授業を大切に全ての科目をまんべんなく学習することが重要だと思います。学力検査当日まで、受検生の学力は上がり続けます。粘り強く勉強に取り組んで、元石川高校合格をめざして下さい。
- Q. 男女別で合格率は変わりますか。
A. 神奈川県立高校では、男女別に選考を行っておりませんので、男女の違いで合格の難易度が変わることはありません。
- Q. 第一次選考、第二次選考は本人には知らせないとのことでしたが、合格発表は同一日なのでしょうか。
A. 入学者選抜における第一次選考、第二次選考は、あくまで選考における手順ですので、合格発表日には、合格者全員を一度に発表します。合格者が第一、第二選考どちらで合格したかを知らせることもいたしません。

Q. 実際の入試の合格者の目安はどれくらいでしょうか。

A. 入学者選抜では、あらかじめ公表した基準で選考します。それ以外の選考に関わる内容は公表しておりません。

Q. 一次選考と二次選考に分かれるのはどうしてですか。

A. 県の選考の方法によるものです。

PTA 活動について

Q. 保護者の PTA 活動についてお伺いしたいです。

A. 普段は、成人、広報、学年、環境の各委員会に分かれて活動しています。

学校説明会について

Q. 夏休みに行われた第 1 回と、第 2 回・第 3 回の説明会の内容に変更などはありますか。

A. 内容については基本的には大きくは変わらない予定です。

Q. ホームページ等を見て質問等が出たときの問い合わせはどうすればよいでしょうか。

A. 広報担当者まで電話でお問い合わせください。